

4 研究の仮説

○ 地域や児童の実態を踏まえ、「知」「徳」「体」の具体的な到達目標を設定し、小・中学校の連携を図りながら、到達目標達成のための取組を展開していけば、「知」「徳」「体」の調和のとれた児童の育成ができるであろう。

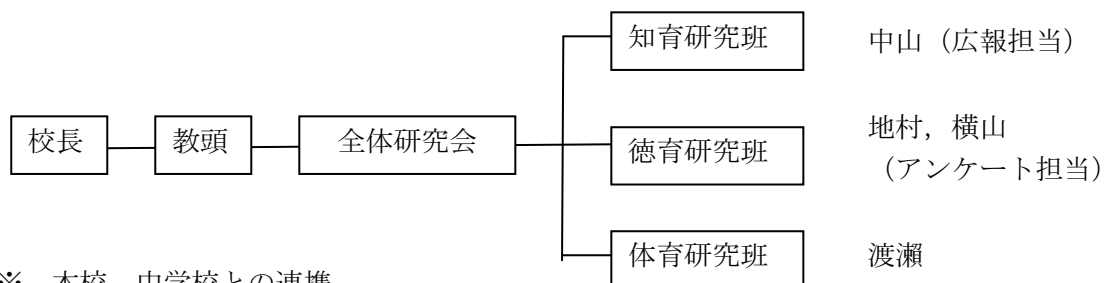
※ 今年度の授業に関わる重点的研究

- ・「知」 説明文を中心に読み取りの力を高める学習指導方法の改善
- ・「徳」 「思いやり， 勇気」の道徳的価値を高める授業の工夫， 改善
- ・「体」 到達目標達成のための学校や家庭における運動の日常化

5 研究の内容

	項 目	内 容
1	実態把握と到達目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・児童， 家庭， 地域の実態把握 ・小・中連携を生かした実態把握 ・到達目標の設定 「知」「徳」「体」の到達目標， 手立ての見直し
2	公表の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・公表内容・方法の工夫・改善 ・山田分校宣言（マニフェスト）の改善
3	「知」「徳」「体」との連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・本校， 中学校との共通の取組 ・分校の取組の改善 「知」の取組について 「徳」の取組について 「体」の取組について
4	評価の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法の定着
5	学習指導方法の工夫， 改善	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取りを中心とした学習指導方法の研究 ・到達目標達成のための学習指導方法の工夫， 改善 授業研究 7月 国語3年 中山 10月 国語1年 横山 11月 国語4年 地村 11月 道徳2年 渡瀬

6 研究組織



※ 本校， 中学校との連携

- ・小中合同企画会
- ・小中合同研究推進委員会
- ・小中合同研究会